



市整会 会報

大阪市立大学整形外科開業医会

No.44 2010年7月30日発行

(医)頼整形外科クリニック
〒591-8004 堺市北区蔵前町1226-1 サンロード1F
TEL072-250-3211 FAX072-250-3222

巻頭言

淡い期待を持たせた民主党政権下での4月の診療報酬改定で最も影響を及ぼしたのが、TV放送で大変話題になった事業仕分けです。ターゲットに狙われたのが整形外科で、2年に一度の医療経営実態調査の結果をそれぞれの立場で勝手に解釈して(マスが40施設と少ない上に、統計のマジックにかかりあまりにも恣意的)、それを基に診療報酬の配分に反映されることになりました。再診回数が多い科であるため、再診料や運動器リハ料がさがっています。それにも増して具体的に「整形外科」という診療科名がマスコミに流れ、いかにも「楽なところに人(医師)が流れていて、また人(医師)が増えているから楽なところである、それが整形外科!」、「儲かっているところは整形外科!」、といった具合のイメージを吹き込んでいる。厚労省は、医師の適正配置を作るというときに、整形外科医が多いと見ているのは明らかである。先日(6月12日)の市整会研修会で東大整形外科中村耕三教授(日整会理事長)が述べられていました。日本専門医制評価・認定機構が各学会に専門医の適切な数、認定基準、研修施設についての見解を求めてきたおり、最近整形外科専門医が多すぎるとの新聞報道もあって、日整会としても必要な専門医数についての見解を出さざるを得ない状況にあります。このまま何もしなければ整形外科医の数が減ることになる。そこで本当のニーズというか、整形外科医が何をしていくかということ世の中に数で示していかなければなりません。手術主体の評価とは別に、整形外科医が沢山やっている保存療法であります。保存療法のデータを持たない限り、ニーズが無いとされかね

市整会会長 頼 功(昭和49年入局)

ません。整形外科専門医として差別化できる保存療法についての検討が必要になります。日整会が提唱しているロコモティブシンドロームは、世の中の認知の面が絶対であります。ニーズがあるということがどうしても必要で、これが無い限りでは行政は動いてくれない。ロコモティブシンドロームの目的は社会への警鐘でもありますけれども、社会のニーズが運動器にあるのだということが広く世の中に浸透させていくことである、と中村教授は強調されています。整形外科専門医の数確保のために一役買っておられるようである。

なお、今回の診療報酬改訂では外来診療料(消炎鎮痛処置等の丸め)などが具体的にならなかったが、医療・介護保険の同時改定の平成24年には大きな動きがあると危機感を共有すべきと多くの先生が述べられている。

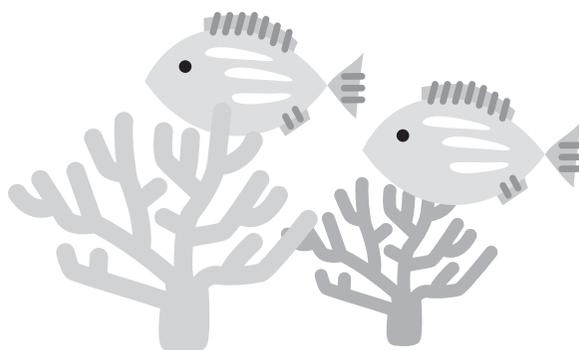
ところで6月19日のOCOA特別研修会での講演内容では、今後整形外科開業医は運動器リハをやるべきで、医療保険のみならず介護保険による運動器リハに参入することを勧めていた。厚労省の現在の考え方は、ターゲットをメタボリックシンドローム・ロコモティブシンドローム・認知症の3つに絞っている。メタボに関しては医療保険の負担を、そしてロコモと認知症に関しては介護保険の負担をいかに少なくするか躍起になっている。その方法として住民健診をしてスクリーニングにかけているが、コストの割に効果的でなかったようである。急性期・回復期リハを医療保険で、そして維持期リハを介護保険で担うが、厚労省は廃用症候群をおこさせないために積極的に急性期リハの充実を進めている。厚労省が運動器の専門

(2)

医である整形外科医によるリハビリ参入を望ましく思っており、整形外科医の通所リハ参入を期待している。厚労省がそれを推進するために医療機関の介護保険みなし指定と短時間型（1-2hrs）リハビリを導入しました。我々整形外科診療所の昼間の時間を利用して介護保険による短時間型通所リハの参入を勧めている。今後おそらく整形外科診療所は、2極化がすすむであろう。一方は診察、鎮痛、指導を中心とした小規模な医療をするもので接骨院と競合する。そしてもう一方はリハビリテーションを重視してPT・OTを雇って、規模を徐々に拡大して行くものである。前者となっている先生方(私も含め)にとっては大変厳しい状況であります。皆さんはどのような選択をなされるでしょうか。整形外科専門医の資格継続要件の問題もあり、ますます厳しい状況になるかもしれません。

さて、去る4月17日に市整会総会におきまして役員改選が行われました。会長を引き続き私が担当することになり、役員の方方も昨年と少し入れ替わりがございましたが、およそ同じメンバーにお願い致しました。私たち2期目の市整会執行部をよろしくお願い申し上げます。至らないとこ

ろ多々あるかもしれませんが、市整会そして会員の皆様の益となるよう頑張って活動させて頂きますので、ご支援、ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。市整会の定款に謳われていますように、この会の目的が大学教室との連携を保ち、本会員の資質向上を図り、会員相互の協調と親睦扶助を推進することとされています。そのための事業として年間8、9のイベントを企画しております。学術講演ばかりでなくご家族の参加も可能な文化講演、新年会、家族会、ゴルフコンペもごございます。いずれの行事も肩肘の張らない、ざくばらんで温かくて居心地の好いこと、本音を語れる、しかも楽しい市整会行事をモットーにしていきたいと思っております。多くの方々のご参加がなければ盛り上がりませんのでご協力の程をよろしくお願い致します。講演会は会員の最も興味・関心のあるお話を、大阪臨床整形外科医会主催などの学術講演会の講演内容とはできるだけちがわないように、市整会独自の一味違う講演会を学術担当部で企画していただきたいと思っております。市整会の会合に出て行けば何か学べ、耳学問ができ、友人たちと談笑し、そして心が癒される、そんな市整会でありたいと願っています。



平成22年度 市整会総会

学術講演 「エルシトニンと経口骨粗鬆症治療薬との併用効果」

旭化成ファーマ(株) 医薬学術部 鶴澤豊暢様

1 総会

議長 前野 岳敏 先生

副議長 南平 克積 先生

黙祷 笹岡正雄先生 10月11日 ご逝去

1 会長挨拶 頼 功先生

2 報告事項

(1) 本日の出席者数と委任状数 総会成立について (斧出)

(2) 今年の会員動向 会員数210名 名誉会員 新入会員 (斧出)

(3) 平成21年度事業報告 (斧出)

(4) 平成21年度会計報告 (柳井)

(5) 平成21年度決算報告に対する監査報告 (吉川)

(6) その他

3 審議事項

(1) 平成22年度事業計画案 (斧出)

(2) 平成22年度予算案 (柳井)

(3) 役員の改選 (頼)

名誉会員の先生

木全俊弘先生 昭和14年9月24日生まれ

前野岳敏先生 昭和14年11月20日生まれ

2 講演会

総合司会 小竹志郎先生

特別講演Ⅰ 座長 鳴嶋真人先生

『GFPRラットを用いた自家骨移植による局所的骨再生メカニズムの解析』

講師 大阪市立総合医療センター
矢野公一先生

特別講演Ⅱ 座長 阪本邦雄先生

『柔道整復師の何が問題なのか？ほんとに悪いのか？』

講師 オサダ整形外科
長田 明先生

3、懇親会

司会 斧出安弘

報告事項

1、会員の動向について

平成21年度の入退会者

①新規開業（および入会届の出した先生）

長濱信一先生 ながはま整形外科

〒535-0005

大阪市旭区赤川2-17-2-201

TEL06-6180-3115 FAX06-6180-3225

片岡威博先生 寺田町整形外科

〒543-0052

大阪市天王寺区大道4丁目10番15号2階

TEL06-6773-3001 FAX06-6773-6660

松尾澄治先生 マツオ外科内科医院

〒551-0031

大阪市大正区泉尾3丁目4番12号

TEL06-6551-7800 FAX06-6555-0515

柴田敏弥先生 久米田外科整形外科病院

〒596-0821

岸和田市小松里町928-1

TEL072-443-1891 FAX072-443-2738

中尾佳裕先生 整形外科ひろクリニック

〒591-8002

堺市北区北花田町2-4-1 コプリー1F

TEL072-250-5551 FAX072-250-5552

頼 浩康先生 整形外科ひろクリニック

〒557-0041

大阪市西成区岸里1-1-4

TEL06-6655-3456 FAX06-6655-3457

以上 6名

②廃業

茶之木頼彦先生、玉田善雄先生、荒木良守先生、

坂部賢治先生

小松堅吾先生、木全俊弘先生、小寺太平先生、

明石武彦先生

沢井康悦先生（特別会員および理事）

以上 9名

(4)

③退会

笹岡正雄先生 10月11日ご逝去

大隈義重先生

④名誉会員の表彰

木全俊弘先生、前野岳敏先生 2名の先生方



〈平成21年度事業報告〉

- H.21.04.25(土) 総会 スイスホテル大阪南海 参加37名 (旭化成ファーマ)
特別講演 『Noggin siRNA導入によるBMPの骨分化誘導作用増強』
我汝会えにわ病院 整形外科 高山和士先生
- H.21.06.13(土) 学術講演会 ヒルトン大阪
参加125名 会員74名 同門会15名 非会員36名 (田辺三菱製薬)
学術講演Ⅰ 『関節リウマチの新しい治療法・病診連携の取り組みを交えて』
大阪南医療センター 免疫異常疾患研究室 室長 大島至郎先生
学術講演Ⅱ 『整形外科診療に役立つパーキンソンニズムの基礎知識』
ペガサス馬場記念病院 神経内科 部長 北口正孝先生
学術講演Ⅲ 『医療訴訟の現状とその対策』
若松陽子法律事務所 弁護士 若松陽子先生
- H.21.07. 市整会誌発行
- H.21.07.26 スケルトンゴルフコンペ オークモントゴルフクラブ
参加者20名
- H.21.09.12 理事会 大東洋 参加23名 (帝人)
- H.21.10.18 家族会 参加25名
目的地：インスタントラーメン発明記念館＝チキンラーメン手作り体験他
有馬温泉＝有馬グランドホテルにて入浴、昼食＝神戸野鳥園
- H.21.11.07(土) 学術文化講演会 天王寺都ホテル
参加97名 内会員63名 (日本臓器)
- 第1部 学術講演 座長 古瀬洋一先生
「整形外科におけるNSAIDs無効例・禁忌例の薬物療法
－ペインクリニックの立場から－」
京都府立医科大学疼痛緩和医療部部長病院教授 細川豊史先生
- 第2部 文化講演 座長 西澤 徹先生
1. 「災害時の広域緊急医療制度 ー本当に不足しているモノは何か？ー」
防衛省航空幕僚監部 首席衛生官 山田憲彦先生
2. 「これからのこの国のかたち、医療のかたち」 座長会長 頼 功先生
コラムニスト 勝谷誠彦先生
- 第3部 パネルディスカッション 司会 玉田善雄 先生
「みんなで楽しいトークショーに」
パネリスト 勝谷誠彦先生、山田憲彦先生、西澤 徹先生
- H.21.11.16 市整会ホームページ開設
- H.21.12.13 第18回市整会ゴルフコンペ 泉が丘カントリークラブ
参加28名
- H.22.01 市整会誌発行
- H.22.01.15(土) 新年会 ANAクラウンプラザホテル (エーザイ)
講演会参加45名 新年会参加82名
特別講演 『脊椎外科診療におけるピットフォールについて』
講師 大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科学教授 中村 博亮 先生
- H.22.03.13(土) 市整会学術講演会 ホテル阪急インターナショナル (小野薬品)
講演会参加159名 (会員87名非会員72名)

(6)

学術講演Ⅰ 『高齢者の脊椎疾患における新たな病態』 座長 宮内 晃先生
講師 大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科教室 講師 寺井秀富先生
学術講演Ⅱ 『膝関節のMRI』 座長 鳴嶋真人先生
首都大学東京 健康福祉部 放射線学科 教授 新律 守先生
H.22.03.27(土) 理事会 ANAクラウンプラザホテル (久光製薬)

〈平成22年度事業計画案〉

H.22.04.17(土) 総会 天王寺都ホテル (旭化成ファーマ)
総司会 小竹志郎先生
特別講演Ⅰ 座長 鳴嶋真人先生
『GFPRラットとWild-Typeラット間移植による異所性骨形成再生メカニズムの解析』
講師 大阪市立総合医療センター 矢野公一先生
特別講演Ⅱ 座長 阪本邦雄先生
『柔道整復師の何が問題なのか？ほんとに悪いのか？』
講師 オサダ整形外科 長田 明先生
H.22.06.12(土) 市整会学術講演会天王寺都ホテル (田辺三菱製薬)
学術講演1 「ビデオで見る神経疾患」
北野病院神経内科 松本先生 座長 宮内晃先生
学術講演2 「RAにおける生物学的製剤による治療：より有効に、より安全に使うには」
大阪南医療センター 臨床研究部 部長 佐伯行彦先生 座長 鳴嶋真人先生
学術講演3 「整形外科診療とロコモティブシンドローム」 座長 頼 功先生
東京大学大学院 整形外科 教授 中村耕三先生
H.22.07 市整会会誌発行
H.22.07.25(日) スケルトンゴルフコンペ オークモントゴルフクラブ
H.22.09.25(土) 理事会 大東洋 (帝人)
H.22.秋頃 家族会
日程 10月17日、24日、31日のいずれかの日曜日
場所は未定 (京都方面)
H.22.11.13(土) 学術文化講演会 スカイツー梅田 (日本臓器)
演者は未定
H.22.12.12. 第19回市整会ゴルフコンペ 泉が丘カントリークラブ
H.23.01. 市整会会誌発行
H.23.01.15(土) 新年会 ANAクラウンプラザホテル (エーザイ)
演者は未定
講師 大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科教授 中村博亮先生
H.23.03. (土) 市整会学術講演会 (小野薬品)
講師 演題名とも未定

平成22年～23年度 市整会役員

会 長	頼 功 (49)
副 会 長	楯 憲一郎 (52) 阪本 邦雄 (53) 鳴嶋 真人 (54)
会 計	柳井 尚浩 (57)
名誉会長	伊藤 成幸 (25) ・松尾 澄正 (28) ・吉中 正好 (36) ・長田 明 (38) 榎本 高明 (39) ・南平 克積 (46)
顧 問	宮内 貴 (31) ・石上 直 (32) ・上田 晏弘 (37) ・吉川 秀明 (39) 黒田 晃司 (46)
議 長	前野 岳敏 (41)
副 議 長	南平 克積 (46)
監 事	寺川 文彦 (57) ・黒田 晃司 (46)
理 事	有馬 英之 (28) ・松井 善邦 (31) ・妻鹿 利和 (31) ・吉田 洋 (31) 反田 英之 (33) ・江口 亨 (36) ・石崎 嘉昭 (37) ・若林 亘 (38) 中野 博友 (39) ・三明 靖昌 (39) ・畠中 正昭 (40) ・奥田 好彦 (44) 越宗 正晃 (44) ・杉本 欣也 (45) ・近藤 正樹 (46) ・楠 正敬 (48) 林 正樹 (51) ・吉田研二郎 (51) ・西上 茂樹 (54) ・増田 宗義 (54) 呉家 守二 (54) ・和田 健志 (54) ・安田 浩成 (54) ・中村 薫 (55) 宮脇 裕二 (55) ・坂本 和彦 (56) ・斧出 安弘 (56) ・天野 裕一 (57) 増田 博 (57) ・寺川 文彦 (57) ・馬野 隆信 (58) ・柴田 和弥 (59) 阪本 博史 (59) ・古瀬 洋一 (60) ・黒澤 克也 (60) ・宮内 晃 (60) 山下 豊 (61) ・西澤 徹 (62) ・伊藤 智康 (63) ・豊川 英樹 (H1) 小堀 肇彦 (H2) ・木下 裕介 (H7) ・森川献志漢 (H8) ・小竹 志郎 (H11)
新 理 事	飯田伊佐男 (54)

市 整 会 役 員 職 務 分 掌

副会長 (楯 憲一郎)

福利厚生担当理事

○安田 浩成 ・ △増田 宗義 ・ △豊川 英樹 ・ 中村 薫 ・ 和田 建志

副会長 (鳴嶋 真人)

学術担当理事

○宮内 晃 ・ △小竹 志郎 ・ 西上 茂樹 ・ 古瀬 洋一 ・ 飯田伊佐男

健保 ・ 労災担当理事

○天野 裕一 ・ △伊藤 智康 ・ 坂本 和彦 ・ 馬野 隆信

副会長 (阪本 邦雄)

広報担当理事

○宮脇 裕二 ・ △木下 裕介 ・ 西澤 徹 ・ 小堀 肇彦 ・ 黒澤 克也

総務担当理事

山下 豊

総務担当理事

○斧出 安弘 ・ △森川献志漢 ・ 阪本 博史 ・ 増田 博

諮問委員 頼 ・ 楯 ・ 阪本邦 ・ 鳴嶋 ・ 柳井 ・ 安田 ・ 宮内晃 ・ 天野 ・ 宮脇 ・ 榎本 ・ 南平 ・ 黒田 ・ 森川
斧出

家族会のお知らせ

今年の家族会の日程・行程が決まりましたのでお知らせします。

日時：10月31日（日）

行程：難波集合8:30——9:30京都伏見（月桂冠大倉記念館、寺田屋）

寺田屋浜乗船場11:35～三十石船～寺田屋浜乗船場12:20——

昼食 老舗料亭 京大和

幕末維新ミュージアム（霊山歴史館）——難波解散17:30～18:00頃

今年はNHKの大河ドラマ龍馬伝がヒットし、坂本龍馬ブームが起こっています。今回の家族会で私たちが龍馬に触れてみようと思います。伏見の寺田屋は龍馬が定宿とし、おかみはお登勢、その下で妻となるおりょうが働いていました。龍馬が薩長同盟を成し遂げた後、寺田屋滞在中に伏見奉行所に襲撃されます。この時は何とか難を逃れ、伏見の薩摩藩邸に匿われます。その後西郷吉之助の勧めもあり、薩摩に向かいます。その道中は霧島によったりして、日本最初の新婚旅行とされています。

昼食場所の京大和は、幕末に勤王の志士たちが集会した翠紅館などが京大和の中に残っています。おいしい料理を食べた後、ゆっくり見てもらえるでしょう。

京大和のそばに霊山（りょうぜん）歴史館があります。慶応3年（1867年）龍馬が発案とされる大政奉還が10月に行われ、その後新政府の土台作りに奔走した後、11月15日京での隠れ家としていた醤油商近江屋で、土佐の同士中岡慎太郎とともに暗殺されます。この日は龍馬の33回目の誕生日でした。その亡骸は霊山に葬られ、龍馬と中岡慎太郎の墓が並んであります。霊山は他にも多くの志士たちの墓所となっています。

世界に目を向け、欧米列強に対抗できる日本を作ろうと考え、実行していった龍馬には胸が躍られます。今年の秋、10月31日、京都で龍馬に触れてみませんか。9月に入ればファックスおよびメールで案内を流しますので、どうぞご家族そろって参加して下さい。

（福利厚生係 安田浩成）



サッカーW杯

木下 裕介 (平成7年入局)

今、南アフリカでW杯が行なわれています。現時点ではまだ優勝等決まっていますが、少しサッカーについて少し触れてみたいと思います。

世界のサッカーをリードしてきたのは何といってもブラジルです。1930年ウルグアイで第1回W杯が行われてから今回で19回目となるのですが、19回連続出場しているのはブラジルだけです。また第20回W杯はブラジルで行うことが決まっているので20回連続出場が決まっています。イタリア、ドイツ(西ドイツも含む)が17回、アルゼンチンが15回と続いています。優勝回数でみると最多がブラジルの5回、イタリア4回、ドイツ3回、アルゼンチンとウルグアイが2回と続き、サッカーの母国イングランドとフランスが自国開催での1回のみで優勝国は7カ国しかありません。

このW杯を構想・企画したのは当時のFIFA会長だったフランス人のジュール・リメ氏で優勝カップのことを通称ジュール・リメ杯といいます。このジュール・リメ杯はW杯で3回優勝すると自国で永久保持することができるため、このカップを永久保持しているのはブラジル・イタリア・ドイツの3カ国だけです。ただブラジルではこのカップが盗難に遭ったままできておらず、今ではそのレプリカが保存されているため、本物を保持しているのは2カ国のみになります。

一方日本はどうかというと、初めてW杯予選に参加したのは1958年スウェーデンで行われた第6回大会で本大会初出場が1998年の第16回フラン

ス大会なので約40年間予選敗退していたので遅すぎる世界デビューといえます。

今回、岡田監督はベスト4を目指していました。結果はベスト16でした。

様々なメディアが報じていたように、十分賞賛に値する結果だと思います。

今回、本来MFである本田をトップに置いた事、阿部をアンカーに置きディフェンシブに戦ったことが、ずばりの中した結果だと思います。実際グループリーグでは、失点は2点だけなので、世界の強豪を相手に完璧に守ったと思います。

このアンカーというポジション、今回初めて日本が採用したポジションですが、今後どうなるのか非常に興味があります。2011年1月にカタールで第15回アジアカップが行われます。日本は、世界の中ではまだまだですが、アジアの中では強豪国です。実際過去15回の中で3度優勝しています。W杯のようにアンカーを置き、完璧に守りきるサッカーで勝ちにいくのか、従来通りのシステムで望むのか今から楽しみです。

もうすぐオランダVSブラジル戦が始まるためこの辺で筆を置き残りのW杯を楽しみたいと思います。会員の先生方取り留めのない話に付き合っていたいただきありがとうございました。



おすすめCD

宮脇 裕二（昭和55年入局）

小惑星探査機『ハヤブサ』が地球に帰ってくるシーンを見てジーンと来ている方に、また『ハヤブサ』と聞いてすぐに『8823』と出てくるあなたに、今回はCDではなくてDVDをご紹介します。

DeAGOSTINIから出ている雑誌で、東宝特撮映画DVDコレクションというシリーズになります。第1巻の『ゴジラ』は私の生まれた1954年の作品で、つまり、ゴジラは私と同じ年になるわけです。ゴジラ作品はいくつもありますが、完成度とストーリー展開で第1作を超えるものは無いと思います。しかし私的には第2作の『ゴジラの逆襲』が最も好むところとなります。なぜならば、ゴジラの暴れる舞台が大阪で、昔の大阪市役所や淀屋橋の地下鉄駅が水没するシーンなど非常にミニチュアがよく出来ていて、思い出深いものです。

実際に映画館で見たのは祖母と行った『モスラ』が最初でした。この映画は画面がシネマスコープで非常に迫力があってのを覚えています。特に東京タワーに作った繭から羽化して巨大な蛾に変身するシーンが圧巻です。この頃の作品はアイデア、映像ともにハリウッドに勝っていたと思います。ちなみにシネマスコープとかシネラマという言葉は私のような昭和の空気です。育った人間には常識なのですが、平成世代の方はわかりますか？

DeAGOSTINIのこのシリーズは私を含めて、医者仲間でも意外に買っている方は多いようです。怪獣もの以外にも、宇宙戦艦ヤマトのモデルになった『海底軍艦』があります。この作品も映画を見て、明治時代のSF作家押川春浪の原作を読んてみたくなり、図書館で探して読んでみたのですが、中に漢文は出てくるはで、非常に難解な作品であったことを覚えています。その他にも『美女と液体人間』や『ガス人間第1号』など非常にマニアックな作品も含まれています。まだ発刊が続いていますので興味があれば購入するのも良いかも。

このシリーズを見るようになって、どうしても気になったのがテレビで放送された『ウルトラQ』でした。『ウルトラマン』はかなりテレビの再放送があって、見る機会があったのですが『ウルトラQ』はNHKのBSで再放送されたくらいで、子供時代にみたりリアルタイムの思い出しかありませんでした。全作品はきっと見ていないと思いましたので、ついに大枚はたいて、ヤフーオークションで『ウルトラQ』DVDフルセットを購入してしまいました。その結果2/3の作品は見た記憶がありましたが、その内容の理解を誤っていたものもありました。ストーリーが子供向けと大人向けが混在していたためと思われます。このDVDはどうでしょう？





編集後記

今年も暑い夏がやって参りました。ただでさえ暑いのに、日々の診療の上に連日のワールドカップサッカーの観戦で睡眠不足も重なり少しお疲れ気味ではないでしょうか？ チームワークを武器にした岡田ジャパンの健闘は十分にたたえられるべきでしょう。

さて、今回も会報をお届けいたしますが、お手

元に届く頃にはサッカーの優勝結果も出ているかと思えます。ホームページと違ってリアルタイムの話題をお届けできないのは残念ですが、紙情報はお手元にずっと残りますので、これからも会報の方もよろしく願いいたします。

(広報：宮脇裕二)